平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月13日

上場会社名　　山陽電気鉄道株式会社　　上場取引所 大
コード番号　　9052　　ＵＲＬ　http://www.sanyo-railway.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）上門　一裕
問合せ先責任者　（役職名）取締役総務本部マネージャー　　（氏名）荒木　素直　　ＴＥＬ　078-612-2032

四半期報告書提出予定日　　平成24年11月13日　　配当支払開始予定日　平成24年12月７日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	23,218	1.2	2,404	4.8	2,311	7.7	1,354	11.2
24年３月期第２四半期	22,945	△4.8	2,293	3.4	2,146	5.2	1,218	24.6

（注）包括利益　25年３月期第２四半期　1,320百万円（18.5%）　24年３月期第２四半期　1,114百万円（28.9%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	12.18	―
24年３月期第２四半期	10.95	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	95,046	28,325	29.3
24年３月期	94,832	27,228	28.3

（参考）自己資本　25年３月期第２四半期　27,886百万円　24年３月期　26,830百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	2.00	―	2.00	4.00
25年３月期	―	2.00			
25年３月期（予想）			―	2.00	4.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,445	2.1	3,385	△7.6	3,016	△7.2	1,601	△2.6	14.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	111,652,992株	24年３月期	111,652,992株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	457,261株	24年３月期	454,309株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	111,197,350株	24年３月期２Ｑ	111,203,807株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）Ｐ．3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
決算発表補足説明資料 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年３月の東日本大震災以降、復興需要等により回復の動きが見られたものの、欧州債務危機による世界景気の下振れリスクが根強く存在するなど、依然として先行き不透明なままに推移いたしました。

このような情勢のなかで、当社グループでは鉄道およびバス事業において積極的に旅客誘致をはかったほか、山陽百貨店では地域において強みを発揮できる分野を中心に新規店舗を導入するなど、さらなる収益拡大に努めました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、営業収益は23,218百万円と前同四半期連結累計期間に比べ272百万円（1.2%）の増収となり、営業利益は2,404百万円と前同四半期連結累計期間に比べ111百万円（4.8%）の増益、経常利益は2,311百万円と前同四半期連結累計期間に比べ165百万円（7.7%）の増益となり、四半期純利益は1,354百万円と前同四半期連結累計期間に比べ136百万円（11.2%）の増益となりました。

①運輸業

運輸業においては、鉄道事業におきまして、大河ドラマ「平清盛」の放映にあわせて、ラッピング電車「清盛号」の運行や「KOBE de 清盛」1dayパスの発売のほか、神戸・須磨方面への観光キャンペーンやハイキングを実施いたしました。また、平成24年の春には、若くして須磨浦の地に散った平敦盛と重ね、須磨エリアの桜を「敦盛桜」と命名し、周辺の観光施設等と連携して旅客誘致に積極的に取り組みました。このほか、便利でお得な各種企画乗車券の販売に引き続き努めたことに加え、施設面では、列車運行管理システム更新工事や踏切支障報知装置設置工事などの安全対策工事を継続して実施いたしました。

バス事業におきましては、明石市東部地区において平成24年３月に明石市から一部路線を譲受け、路線の新設や増便を行ったほか、垂水地区においては平成24年４月に路線を新設するなど、地域社会の求めるニーズにあわせた施策を実施いたしました。また、団体でのお出かけやご旅行のニーズに弾力的にお応えするため、中型貸切バスを新たに導入し、送迎バスの事業強化をはかりました。

運輸業全体では、平成23年の東日本大震災の影響による出控えの反動や、山陽バスにおいて明石市営バスの一部路線を譲受けたことなどにより、外部顧客に対する営業収益は9,261百万円と前同四半期連結累計期間に比べ223百万円（2.5%）の増収となったものの、経費の増加により、営業利益は1,264百万円と前同四半期連結累計期間に比べ19百万円（△1.5%）の減益となりました。

②流通業

流通業におきましては、山陽百貨店において、地域の方に選ばれ、親しまれる百貨店をめざし、婦人用の服飾・雑貨部門において「SK-Ⅱ」などの新規店舗を導入いたしました。また、食料品部門では、食品雑貨を中心としたセルフ方式の売場「Sマート」に「oisio（オアジオ）」を導入するなど、引き続き快適な売場環境づくりに取り組みました。催事面では「日本列島絶品うまいもの大会」などを開催し、さらなる集客力の強化をはかりました。

流通業全体では、山陽百貨店においてＪＲ姫路駅周辺整備工事による影響等により減収となったことなどから、外部顧客に対する営業収益は10,345百万円と前同四半期連結累計期間に比べ93百万円（△0.9%）の減収となりましたが、経費の圧縮等により、営業利益は171百万円と前同四半期連結累計期間に比べ13百万円（8.9%）の増益となりました。

③不動産業

不動産業のうち分譲事業におきましては、西宮市において「エスコート西宮グランハーツ」、神戸市須磨区では「エルグレース須磨 妙法寺川公園」の建設・販売を進めました。また、大阪府吹田市の「ザ・千里ガーデンズ」においても、引き続き販売に注力いたしました。賃貸事業におきましては、大阪市西天満地区において賃貸マンションの建設を推進するなど、長期的な収益基盤の強化をはかりました。

不動産業全体では、前同四半期連結累計期間と比べ分譲・賃貸ともに規模の拡大があったことなどから、外部顧客に対する営業収益は1,597百万円と前同四半期連結累計期間に比べ156百万円（10.9%）の増収となり、営業利益は885百万円と前同四半期連結累計期間と比べ151百万円（20.6%）の増益となりました。

④レジャー・サービス業

レジャー・サービス業におきましては、須磨浦山上遊園において行楽シーズンを中心に夜間営業を行い、神戸の美しい夜景をお楽しみいただいたほか、平成24年７月には、新たな集客スポットとして平敦盛が愛用した青葉の笛をモチーフとした「日時計と青葉の笛広場」をオープンいたしました。また、舞子ホテルにおいては、邸宅ウェディングの魅力を発信するべく、定期的にブライダルフェアを開催するなど、さらなる収益拡大に努めました。

レジャー・サービス業全体では、外部顧客に対する営業収益は1,294百万円と前同四半期連結累計期間に比べ57百万円（4.7%）の増収となりましたが、経費の増加により、営業損失は70百万円と前同四半期連結累計期間に比べ38百万円（116.1%）増加しました。

⑤その他の事業

その他の事業全体では、外部顧客に対する営業収益は718百万円と前同四半期連結累計期間に比べて71百万円（△9.1%）の減収となり、営業利益は99百万円と前同四半期連結累計期間に比べ6百万円（△5.7%）の減益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて214百万円増加し、95,046百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末に比べて1,097百万円増加し、28,325百万円となり、自己資本比率は29.3%となりました。増減の主な内訳は、資産の部では現金及び預金が2,420百万円、受取手形及び売掛金が746百万円、それぞれ減少し、また、建物及び構築物が851百万円、建設仮勘定が1,484百万円、有形固定資産のその他が609百万円、それぞれ増加しています。負債の部では短期借入金が330百万円、長期借入金が2,765百万円、それぞれ減少し、また、支払手形及び買掛金が779百万円、長期前受工事負担金が1,312百万円増加しています。純資産の部では、利益剰余金が1,132百万円増加しています。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は平成23年３月の東日本大震災の復興需要等による回復の動きが引き続き見られるものの、欧州債務危機や中国の景気減速による世界景気の下振れリスクが根強く存在し、依然として先行き不透明なままに推移するものと思われます。このような状況の下、平成24年５月15日に公表しました業績予想を変更いたしております。

通期の業績予想につきましては、第２四半期までの業績及び今後の見通しを勘案し、営業収益48,445百万円（前期比2.1%増）、営業利益3,385百万円（前期比7.6%減）、経常利益3,016百万円（前期比7.2%減）、当期純利益1,601百万円（前期比2.6%減）を見込んでおります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,425	7,004
受取手形及び売掛金	2,462	1,716
有価証券	699	699
商品及び製品	1,004	1,009
分譲土地建物	4,784	4,916
繰延税金資産	295	274
その他	587	589
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	19,256	16,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,523	34,375
機械装置及び運搬具（純額）	4,016	4,071
土地	18,955	19,301
建設仮勘定	8,621	10,105
その他（純額）	682	1,292
有形固定資産合計	65,799	69,146
無形固定資産	355	396
投資その他の資産		
投資有価証券	3,105	3,043
長期貸付金	55	63
長期前払費用	4,922	4,861
繰延税金資産	268	254
その他	1,086	1,088
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	9,421	9,294
固定資産合計	75,576	78,838
資産合計	94,832	95,046

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,989	7,768
短期借入金	7,113	6,783
未払法人税等	1,001	981
賞与引当金	146	131
役員賞与引当金	30	―
商品券等使用引当金	337	334
その他	6,451	6,798
流動負債合計	22,071	22,798
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	23,145	20,380
繰延税金負債	361	317
退職給付引当金	1,311	1,380
長期前受工事負担金	7,705	9,018
受入敷金保証金	5,675	5,518
その他	1,333	1,307
固定負債合計	45,532	43,922
負債合計	67,603	66,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,090	10,090
資本剰余金	6,850	6,850
利益剰余金	9,803	10,935
自己株式	△128	△129
株主資本合計	26,616	27,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213	138
その他の包括利益累計額合計	213	138
少数株主持分	398	439
純資産合計	27,228	28,325
負債純資産合計	94,832	95,046

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業収益	22,945	23,218
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	18,015	18,130
販売費及び一般管理費	2,637	2,683
営業費合計	20,652	20,813
営業利益	2,293	2,404
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	53	43
持分法による投資利益	―	0
バス補助金	46	72
雑収入	171	162
営業外収益合計	278	283
営業外費用		
支払利息	321	275
持分法による投資損失	0	―
雑支出	104	101
営業外費用合計	426	377
経常利益	2,146	2,311
特別利益		
固定資産受贈益	1	―
固定資産売却益	0	―
工事負担金等受入額	9	150
特別利益合計	11	150
特別損失		
固定資産除却損	9	2
投資有価証券評価損	1	―
工事負担金等圧縮額	9	150
減損損失	―	0
特別損失合計	20	154
税金等調整前四半期純利益	2,136	2,307
法人税、住民税及び事業税	974	926
法人税等調整額	△92	△15
法人税等合計	881	910
少数株主損益調整前四半期純利益	1,255	1,397
少数株主利益	36	42
四半期純利益	1,218	1,354

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,255	1,397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△140	△76
その他の包括利益合計	△140	△76
四半期包括利益	1,114	1,320
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,079	1,279
少数株主に係る四半期包括利益	34	40

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	9,038	10,439	1,441	1,236	790	22,945	－	22,945
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	215	47	410	31	877	1,582	△1,582	－
計	9,253	10,487	1,852	1,267	1,667	24,528	△1,582	22,945
セグメント利益又はセグメント損失（△）	1,283	157	734	△32	105	2,247	45	2,293

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去45百万円であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	9,261	10,345	1,597	1,294	718	23,218	－	23,218
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	216	30	435	41	948	1,672	△1,672	－
計	9,477	10,376	2,032	1,336	1,667	24,890	△1,672	23,218
セグメント利益又はセグメント損失（△）	1,264	171	885	△70	99	2,350	54	2,404

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去54百万円であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

決算発表補足説明資料
(1)セグメント情報(連結)

(第2四半期連結業績)
外部顧客に対する売上高　(単位:百万円)

	24年9月期(実績) 中間期	23年9月期(実績) 中間期	増減額	増減率(%)
運輸業	9,261	9,038	223	2.5
流通業	10,345	10,439	△ 93	△ 0.9
不動産業	1,597	1,441	156	10.9
ﾚｼﾞｬｰ・ｻｰﾋﾞｽ業	1,294	1,236	57	4.7
その他の事業	718	790	△ 71	△ 9.1
計	23,218	22,945	272	1.2

営業利益　(単位:百万円)

	24年9月期(実績) 中間期	23年9月期(実績) 中間期	増減額	増減率(%)
運輸業	1,264	1,283	△ 19	△ 1.5
流通業	171	157	13	8.9
不動産業	885	734	151	20.6
ﾚｼﾞｬｰ・ｻｰﾋﾞｽ業	△ 70	△ 32	△ 38	△ 116.1
その他の事業	99	105	△ 6	△ 5.7
消去	54	45	△ 8	△ 19.6
計	2,404	2,293	111	4.8

(通期連結業績予想)
外部顧客に対する売上高　(単位:百万円)

	25年3月期(予想) 通期	24年3月期(実績) 通期	増減額	増減率(%)
運輸業	18,037	18,049	△ 12	△ 0.1
流通業	21,254	21,576	△ 321	△ 1.5
不動産業	5,004	3,873	1,130	29.2
ﾚｼﾞｬｰ・ｻｰﾋﾞｽ業	2,663	2,537	125	5.0
その他の事業	1,485	1,397	87	6.3
計	48,445	47,435	1,009	2.1

営業利益　(単位:百万円)

	25年3月期(予想) 通期	24年3月期(実績) 通期	増減額	増減率(%)
運輸業	1,458	1,851	△ 393	△ 21.2
流通業	374	386	△ 12	△ 3.2
不動産業	1,406	1,307	99	7.6
ﾚｼﾞｬｰ・ｻｰﾋﾞｽ業	△ 101	△ 70	△ 30	△ 43.8
その他の事業	188	134	53	39.9
消去	59	55	4	7.8
計	3,385	3,664	△ 279	△ 7.6

(2)金融収支(連結)　　(単位:百万円)

	24年9月期(実績) 中間期	25年3月期(予想) 通期	24年3月期(実績) 通期
受取利息・配当金	48	75	90
支払利息・社債利息	275	664	635
計	△ 227	△ 589	△ 545

(3)減価償却費(連結)　　(単位:百万円)

24年9月期(実績) 中間期	25年3月期(予想) 通期	24年3月期(実績) 通期
1,503	3,114	3,134

(4)設備投資額(連結)　　(単位:百万円)

	25年3月期(予想) 通期	24年3月期(実績) 通期
運輸業	5,094	2,125
流通業	100	125
不動産業	1,887	944
ﾚｼﾞｬｰ・ｻｰﾋﾞｽ業	105	120
その他の事業	7	196
計	7,193	3,511

(5)鉄道事業運輸成績表(個別)

(収入)　　(単位:千円)

	24年9月期(実績) 中間期	23年9月期(実績) 中間期	増減額	増減率(%)
定期外	3,150,992	3,084,301	66,691	2.2
定期	2,784,938	2,764,593	20,344	0.7
計	5,935,930	5,848,894	87,036	1.5

(人員)　　(単位:千人)

	24年9月期(実績) 中間期	23年9月期(実績) 中間期	増減	増減率(%)
定期外	10,637	10,392	245	2.4
定期	16,714	16,637	76	0.5
計	27,352	27,030	322	1.2